## あずま小学校だより

学校通信 第9号 令和7年9月5日 学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



## 2学期が始まりました一始業式の話から一

9月1日(月)から2学期が始まりました。始業式では、子どもたちに以下のような話をしました。

あずま小のみなさんおはようございます。校長先生は、1学期の終まで、夏休み中けがや事故、病気などに十分気をつけるよう皆さんにはからしました。そして、「始業式に学校に来て、笑顔で会いました。あずま小のやにました。あずま小がそれを守り、大きなけがでまなく、笑顔で元気に今こことが校長先生は何より嬉しいです。

さて、いよいよ今日から2学期が 始まります。今はとても暑いですが、 終業式がある12月はとても寒い、 そんな一番長い学期です。その2学 期が充実したものになるよう、今日 は「チャレンジすること」について話をします。



「チャレンジする」とは「難しい問題や今までやっていないことなどに取り組むこと」です。2学期は運動会や修学旅行、校外学習、陸上記録会など多くの行事があり、委員会活動なども活発になります。勉強も新しいことをどんどん学びます。生活も充実する学期です。そういった中で、ぜひいろいろなことにチャレンジしてほしいと校長先生は思っています。例えば、「陸上記録会に参加してみる」「何かの仕事に立候補してみる」「委員会活動や係の仕事で新しいことを考えやってみる」「自主勉をはじめてみる」「授業ですすんで発言してみる」「あまり話していない人に話しかけてみる」「あいさつをすすんでしてみる」など、何でもいいのです。自分で考え、自分で決めて、どこまでできるかやってみましょう。そうすると、「あのこともできた」「このこともできた」ということが増えていくと思います。

時に失敗することもあるでしょう。確かに失敗しないに越したことはありませんが、一度も**失 敗**をしたことがない人は、何も新しいことにチャレンジしたことがない人です。失敗は、自分自身 に、自分の足らないところを教えきてくれた大切なお使いのようなもの。めげずに反省し前に進 んでほしいと思います。そうして、2学期がみなさんにとって充実したすてきな学期となるよう 願っています。

あずま小学校のスローガンは「未来の自分のためにチャレンジ」です。これには、これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自分で決め、自分で考え、自分で動き出し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。また、学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。そうした願いが込められています。始業式では、そんな願いを込めて失敗を恐れずチャレンジしようという話をしました。学校では、子どもたちが、誰かからいわれてやるのではなく、自分で考え、決めて、行動できるような力が少しでも育つように支援していきます。

## 5年生が臨海学校に行ってきました

7月22日(火)・23日(水)に5年生の臨海学校が開催されました。新潟県長岡市寺泊で1泊2日の日程で行われました。天候にも恵まれ海水浴を2回実施したほか、夜のキャンプファイヤーや市場通りで買い物をするなど、充実した2日間を過ごすことができました。同学年としての初めての宿泊学習であり、前述のイベントや寝食をともにする中で「きずな」を深めることもできたようです。



浜辺で、スイカ割りした後のスイカをいただきます(手前)



磯の香りがする市場で買い物です。ようこそ寺泊へ。



キャンプ ファイヤーの様子。猛暑に炎と情熱でとてもあつい。



「朝のつどい」は施設屋上で行います。海は広いな大きいな。



みんなでお食事。定番のカレー ライス。おいしくいただきます。



| 浮き輪を持って一斉に海へ。生 | まれたての子ガメのよう。

## 学校の日常が戻ってきました

2学期が始まり学校に日常が戻ってきました。2学期も元気に学び、元気に遊んでほしいと

思います。ただ、これまでと異なるのはこの暑さです。今週 も水曜日まで休み時間に外で遊ばせることができませんで した。連日校庭のWBGT計(暑さ指数計)の数値が31を大



提出されたコンクール等の課題作品の一部。自主的に課題に取り組む 姿勢がとても立派です。



9/4(木)1校時、5年生の算数の授業風景。三角形の3つの内角の和が180度であることを利用した問題演習をしています。 3桁の引き算は間違いやすい。